

KYOKUJOSAI
旭城祭

3217慶野正汰





目次

TABLE OF CONTENTS

はじめに

開祭式

各団体準備

一般公開

後夜祭

コロナ対策 1

コロナ対策 2

令和2年度の実績

令和3年度の試み

さいごに

はじめに

今回皆さんにはこのPowerPointを通して
佐野高校の最大イベントである旭城祭を
深く知っていただきたいと思います！！



開祭式 OPENING CEREMONY



開祭式では、

- ・ 旭城祭実行委員長による
開祭宣言
- ・ 旭城祭関連の表彰
- ・ 吹奏楽部による
迫力満点のセレモニー演奏
- ・ 各団体が制作し、
映像のプロが編集する
『旭城祭CM』放映

と旭城祭を感じれる
プログラムが用意されています。

各団体準備 PREPARATION



旭城祭準備

早い団体は夏休み中から
休み返上でとりかかります。

各団体が工夫を凝らして
作る上げるブースを
ぜひ楽しんでください！

一般公開 OPEN TO THE PUBLIC



ついに一般公開！！

一般の方々の来校で
生徒の熱も一段と高くなります。

生徒が考えた、至極の祭を
ぜひ感じていただきたいです。

後夜祭 LATE-NIGHT FESTIVAL



旭城祭一般公開後に
高校生のみ参加できる
祭典『後夜祭』

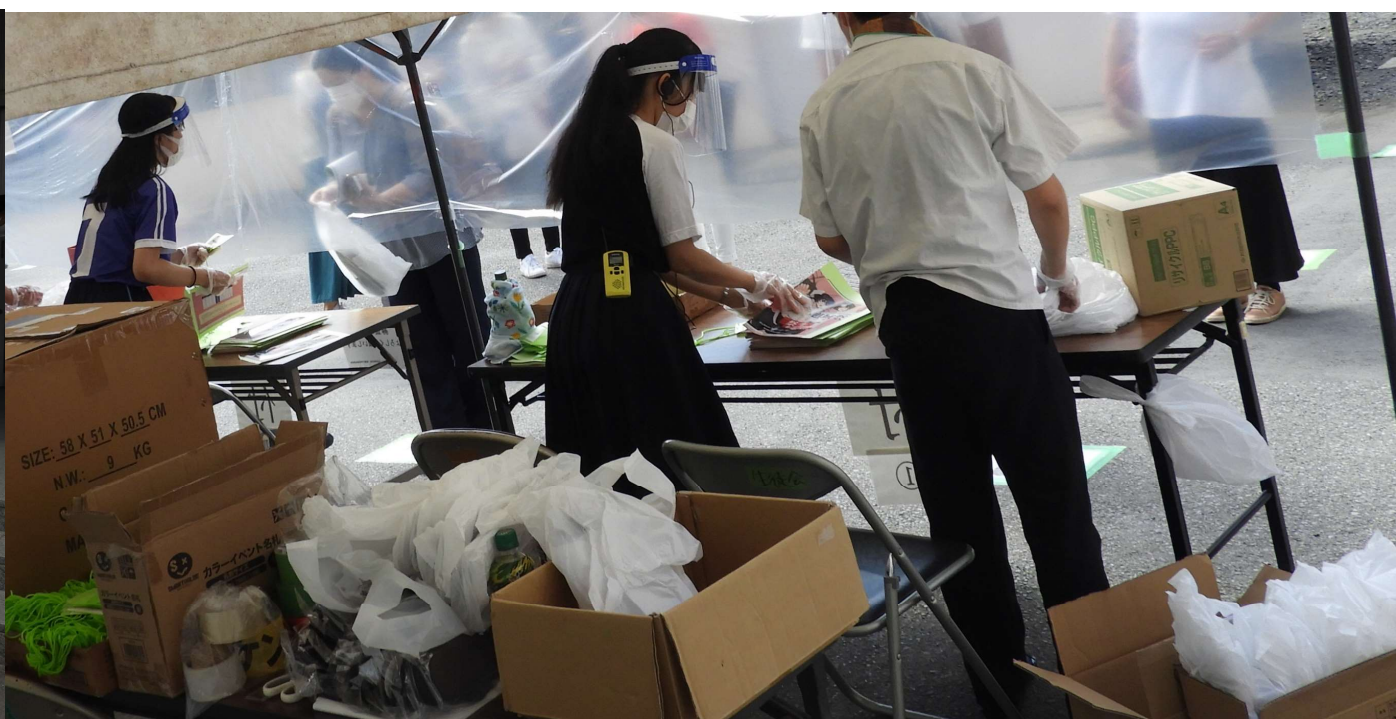
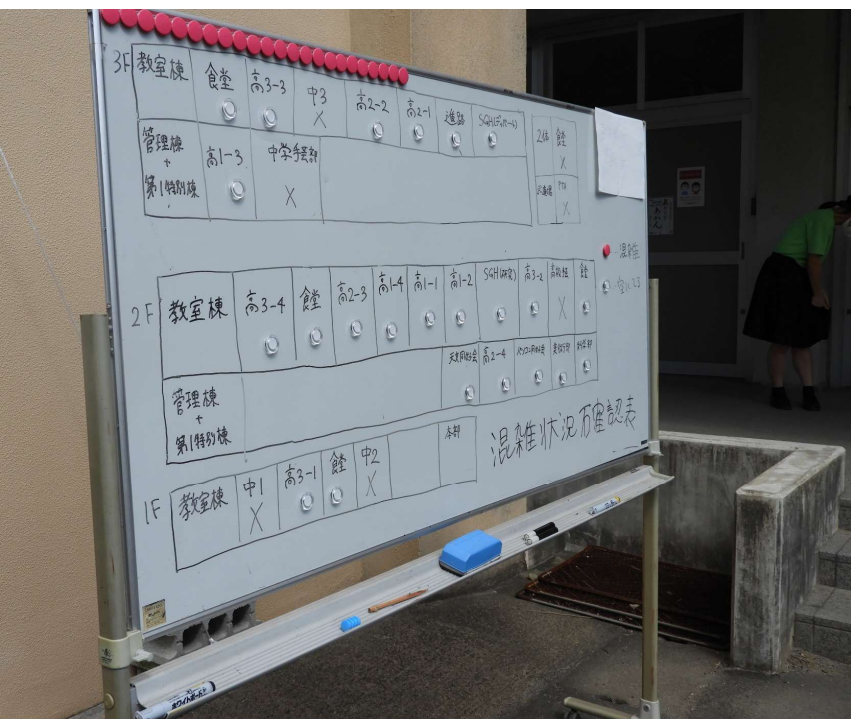
高校生有志が
歌・ダンス・バンド・
パフォーマンス
と自分の特技を披露します。

コロナ対策①

受付での対応

検温・消毒はもちろんのこと徹底したコロナ対策を受付で行っています。

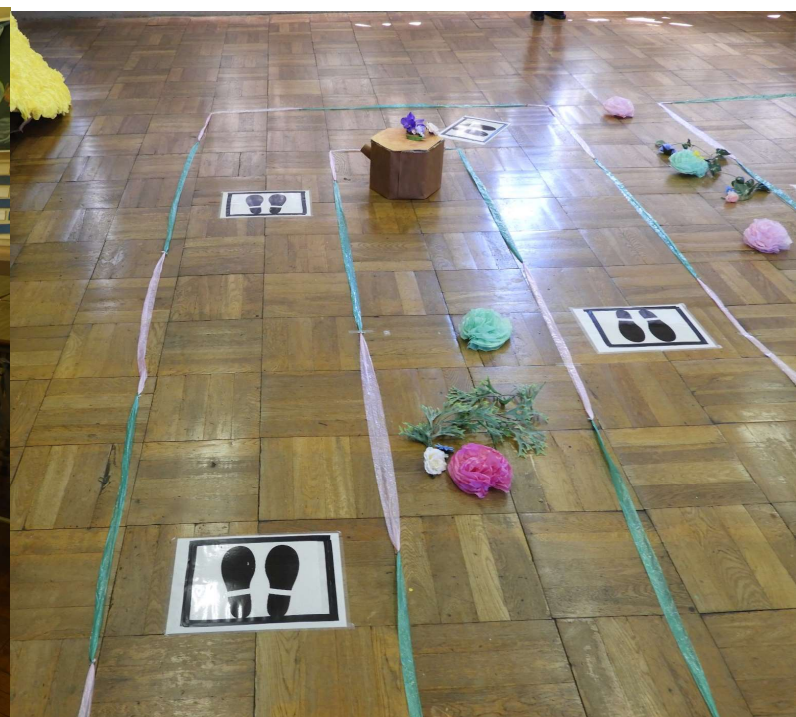
また、逐一教室の混み具合を伝えるシステムも用意しています。



コロナ対策②

教室での対策

各教室のクラスボードにて『空』『満』と混雑状況を表示があります。
食堂等の飲食スペースはアクリル板を設置したり、
動線にはディスタンスを促す仕組みがあつたりします。



令和2年度旭城祭での実績

令和2年度
1.17
防災未来賞

ぼうさい甲子園

参加校・参加団体募集!!

「with コロナ」における、みなさんの学校・地域の防災教育・防災活動、
いのちを大切にする取り組みを表彰します

今こそ生きる「ぼうさい」の学び

応募締切
令和2年
11月13日

問い合わせ先

ぼうさい甲子園事務局 (特別)さくらネット
 ●〒662-0041 兵庫県西宮市米田区4-7 美川レッチョオレジデンツァ402
 TEL 0798-23-3215 FAX 0798-23-3187
 メール bousai_koushien@yahoo.co.jp

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター事業部事業課
 ●〒651-0073 兵庫県神戸市中央区福知山町1-5-2 西館3階
 TEL 078-262-5088 FAX 078-262-5082

- 主 催 兵庫県、毎日新聞社、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
- 後 援 内閣府、総務省消防庁、文部科学省、国土交通省、
(予 定) 兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、関西広域連合、
ひょうご安全の日推進委員会
- 事務局 (特別)さくらネット
- 協 賛 独立行政法人都市再生機構



人と防災未来センター河田センター長からのメッセージ

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中で、皆様方の学校でも児童・生徒・学生諸君とその保護者様はもとより、先生、学校関係者、地域の皆さんも大変でした。でもホッと一安心するわけにはいきません。第2波、3波がとて心配です。残念ながらもまだワクチンが未開発では、このウィルスとうまく付き合っていくなければなりません。大切な命を守るためには、いま私たちがもっている知恵を総動員することが大切です。このような心配や苦労を身近に経験すると、防災への取り組みに、以前にも増して、勇気をもって挑戦する姿勢が求められます。その姿を多くの人たちに紹介してください。

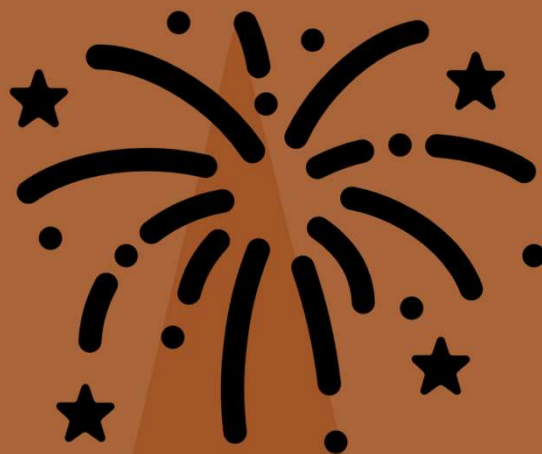
令和2年度は、未知の存在『COVID-19』の流行によって、旭城祭の開催そのものが課題となりましたが、当時の生徒会や実行委員会の努力によって、県内では唯一、保護者来場のもと学校祭を開催した、学校となりました。

また、この実績を称え毎日新聞社などが主催する『ぼうさい甲子園』によって【しなやかwithコロナ賞】に選ばれました！！

2020.8/31の下野新聞にも紹介されました。

令和3年度旭城祭の試み

花火 FIREWORK



令和3年度の旭城祭では、生徒会長と実行委員長を中心に花火を打ち上げる企画書を制作し、花火会社へのアポイント等はもちろん、佐野市や近隣の住民の方々への説明を行い実施に至りました。花火を企画した経緯は、郊外活動をコロナによってほとんど出来なかった当時の3年生が、学校祭では記念になる思い出を作りたいという気持ちに、学校側も賛同して企画に至りました。



さいごに

旭城祭の魅力はまだまだたくさんあります。

「百聞は一見に如かず」

これを見て興味を持った方は

ぜひ旭城祭にお越しください。



見ていただき
ありがとうございました